

## 第3章 入所者調査

### 1 調査概要

#### (1) 調査の目的

施設等に措置（委託）中の児童の生活と意識、自立支援に対するニーズ等を把握することを目的として、現在の状況をたずねる本人記入調査を実施した。

#### (2) 調査対象

- ① 施設等に入所中の者
- ② 里親またはファミリーホーム事業者に措置委託中の者
- ③ 児童自立生活援助の実施中の者

上記①～③の対象者の内、15歳以上の義務教育を修了した者を調査の対象とした。

#### (3) 調査方法

入所中の本人を回答者とする Web 調査とした。

#### (4) 実施期間

2023年11月1日～11月30日

#### (5) 回答件数

調査対象者 216 件に対し 144 件の回答が得られた。回答率は 66.7%であった。

#### (6) 調査項目

調査項目については、次ページ図表 3-1 のとおり 7 項目 32 問を設問した。

図表 3-1 入所者調査の調査項目

設問種別	設問内容
(1) 基本属性	① 性別と年齢 ② 就学状況と学年 ③ 現在生活している施設等の種類
(2) 現在の状況	① 身体健康状態 ② 心・精神健康状態 ③ 卒業後の予定進路
(3) 施設等とのかかわり	① 意思表示と意思の尊重 ② 職員等との信頼関係 ③ 将来希望する施設等との連絡頻度
(4) 自立の準備	① 自立準備の開始時期と評価 ② 施設等で受けた自立支援の内容 ③ 施設等の自立支援の評価 ④ 自立支援への意見
(5) 将来について	① 将来の不安 ② 将来への意識
(6) 悩みと支援ニーズ	① 対人関係における心理的障壁 ② 困った時の相談相手 ③ 退所後の支援ニーズ
(7) 心のよりどころ	① 嬉しかったことを伝える相手 ② 安心安全な居場所とその内容

#### (7) 集計・分析に関する留意事項

報告書本編に取り上げたクロス集計は、統計的に有意と判断されたものについてコメントしている。統計的に有意とした判断基準は、以下 3 項目を満たすもの。

- ① 回答数 10 件 (n=10) 以上  
特に、施設等の種類によるクロス集計は、施設以外の回答数が少ないため、基本的に本編では取り上げていない。
- ② カイ二乗検定<sup>27</sup> P 値 0.05 以下
- ③ 残差分析<sup>28</sup> 調整済み標準化残差が、±1.96 以上

27 カイ二乗検定は、2つのグループの比率に差異があるかどうかを判断する検定（資料編 148 ページ参照）。

28 残差分析は、カイ二乗検定で統計的に有意な差異があるとされたグループの中で、カテゴリー間の有意差を分析する手法（資料編 148 ページ参照）。

## 2 調査結果

### (1) 基本属性

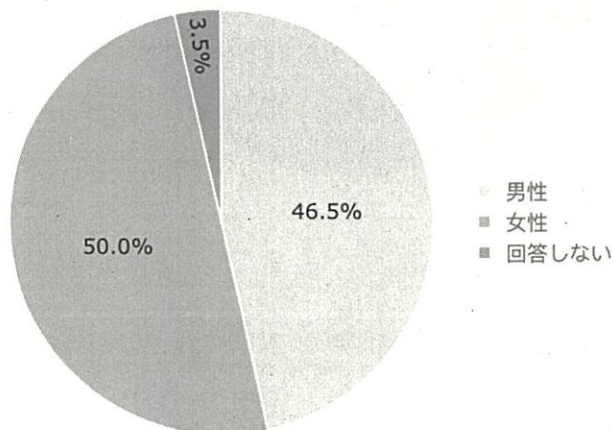
基本的な属性として、性別、年齢、現在生活している施設等の種類についてたずねた。

#### ① 性別と年齢

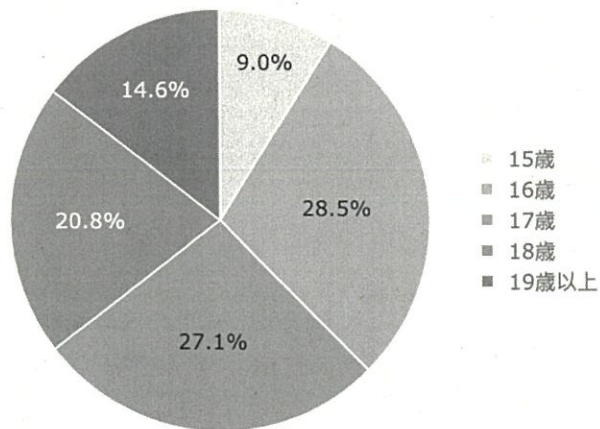
性別については、「男性」46.5%、「女性」50.0%と、男女の比率はほぼ同じとなった(図表 3-2)。また、「回答しない」も 3.5%あった。

年齢については、「15 歳」9.0%、「16 歳」28.5%、「17 歳」27.1%、「18 歳」20.8%となった(図表 3-3)。調査対象に母子生活支援施設も含まれるため、「19 歳以上」も 14.6%となっている。

図表 3-2 性別 n=144



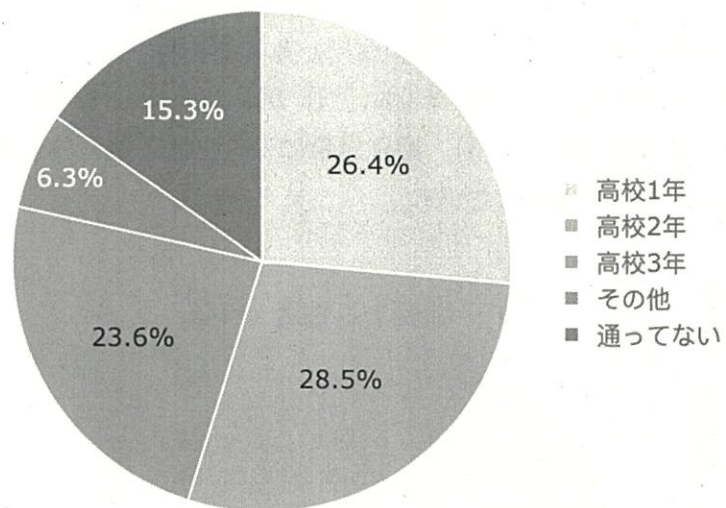
図表 3-3 年齢 n=144



## ② 就学状況と学年

高校の学年については、「高校1年」26.4%、「高校2年」28.5%、「高校3年」23.6%、「その他」6.3%となっている(図表 3-4)。高校に「通っていない」も15.3%あるが、その中には母子生活支援施設の回答者も含まれる。

図表 3-4 就学状況と学年 n=144

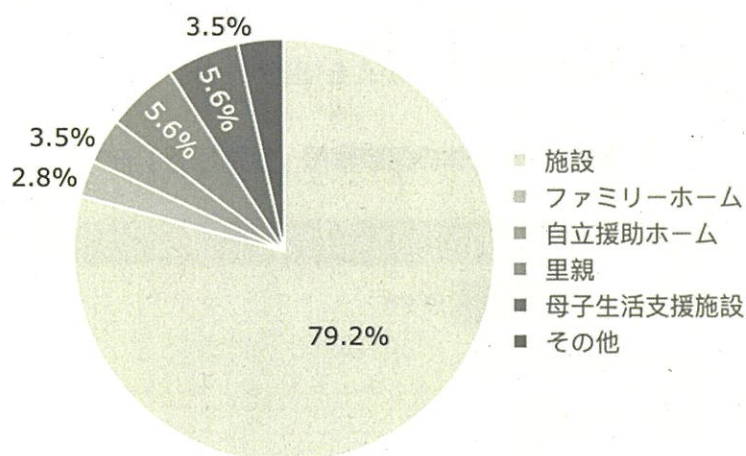




### ③ 現在生活している施設等の種類

現在生活している施設等の種類（以下 施設等の種類 と略記）は、「施設」79.2%、「里親」5.6%、「ファミリーホーム」2.8%、「自立援助ホーム」3.5%、「母子生活支援施設」5.6%と、「施設」が大多数を占めている（図表 3-5）。参考値として、施設等の種類を性別と通学状況で比較した表を掲載する（図表 3-6）。

図表 3-5 現在生活している施設等の種類 n=144



図表 3-6 参考値：現在生活している施設等の種類×性別・通学状況

上段：度数 下段：%	性別			通学状況					回答者数	
	男性	女性	回答しない	高校1年	高校2年	高校3年	その他	通ってない		
合計	67 46.5%	72 50.0%	5 3.5%	38 26.4%	41 28.5%	34 23.6%	9 6.3%	22 15.3%	144 100.0%	
施設等の種類	施設	55 48.2%	55 48.2%	4 3.5%	35 30.7%	37 32.5%	30 26.3%	5 4.4%	7 6.1%	114 -
	ファミリーホーム	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	4 -
	自立援助ホーム	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	5 -
	里親	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 -
	母子生活支援施設	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	8 -
	その他	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	5 -

## (2) 現在の状況

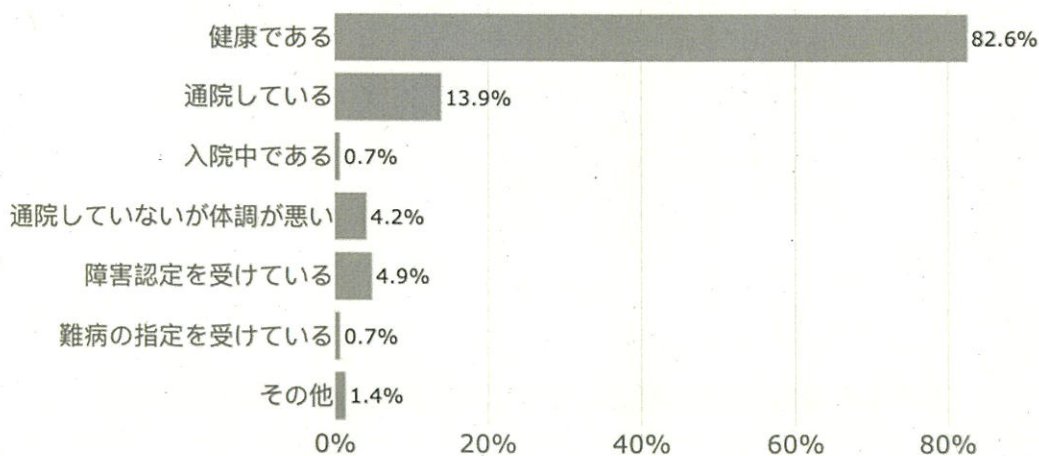
現在の状況として、健康状態、卒業後の進路の予定についてたずねた。

### ① 身体の状態

身体の状態は、「健康である」が 82.6%と多数を占めている（図表 3-7）。一方で、「通院している」13.9%、「障害認定を受けている」4.9%、「通院していないが体調が悪い」4.2%となっている。

身体の状態と性別の関連をみると、男性は「健康である」が 97.0%と大多数を占めるが、女性は「健康である」が 69.4%、「通院している」が 22.2%と、男性よりも身体不調の傾向がうかがえる（図表 3-8）。

図表 3-7 身体の状態【複数回答】 n=144



図表 3-8 身体の状態×性別

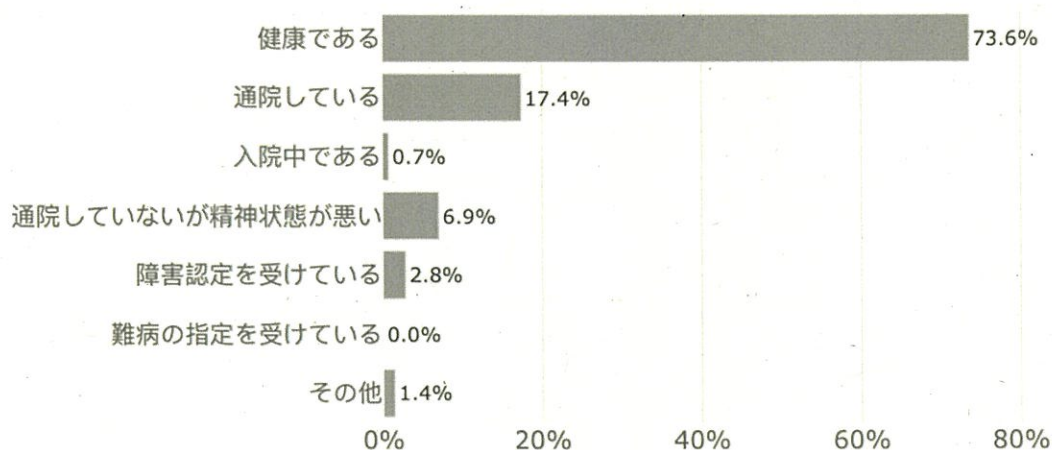
上段：度数 下段：%		健康である	通院している	入院中である	通院していないが体調が悪い	障害認定を受けている	難病の指定を受けている	その他	回答者数
合計		119 82.6%	20 13.9%	1 0.7%	6 4.2%	7 4.9%	1 0.7%	2 1.4%	144 100.0%
性別	男性	65 97.0%	4 6.0%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	67 -
	女性	50 69.4%	16 22.2%	1 1.4%	4 5.6%	5 6.9%	1 1.4%	1 1.4%	72 -
	回答しない	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 -

## ② 心・精神の健康状態

精神の健康状態についてみると、「健康である」が73.6%と7割以上だが、身体  
の健康状態に比べてやや低い(図表 3-9)。一方で、「通院している」が17.4%、  
「通院していないが精神状態が悪い」が6.9%となっている。

前述の身体の状態と同様に、男性は「健康である」が89.6%と大多数を占  
めるが、女性は「健康である」が58.3%、「通院している」が27.8%と、男性よ  
りも心・精神不調の傾向がうかがえる(図表 3-10)。

図表 3-9 心・精神の健康状態 [複数回答] n=144



図表 3-10 心・精神の健康状態×性別

上段：度数 下段：%		健康であ る	通院して いる	入院中で ある	通院して いないが 心の状態 が悪い	障害認定 を受けて いる	難病の指 定を受け ている	その他	回答者数
合計		106 73.6%	25 17.4%	1 0.7%	10 6.9%	4 2.8%	0 0.0%	2 1.4%	144 100.0%
性別	男性	60 89.6%	5 7.5%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	67 -
	女性	42 58.3%	20 27.8%	1 1.4%	8 11.1%	3 4.2%	0 0.0%	2 2.8%	72 -
	回答しな い	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 -

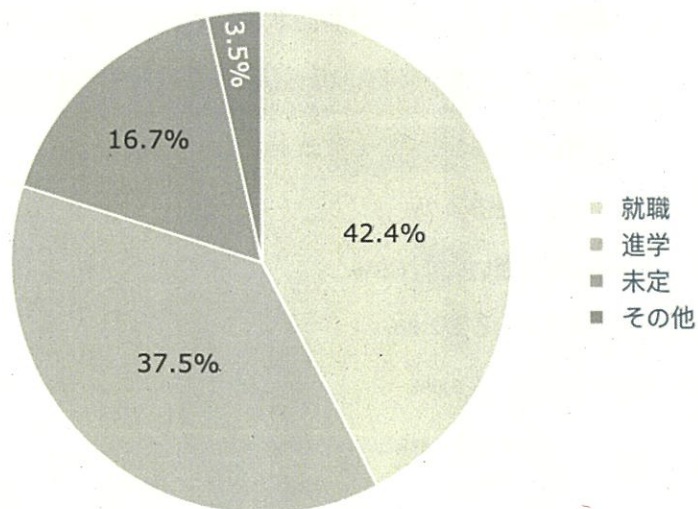


### ③ 卒業後の予定進路

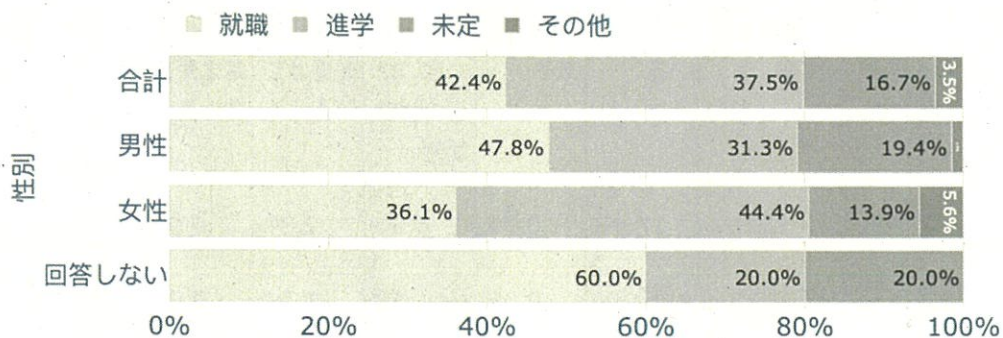
現在通っている学校等を卒業した後の予定進路は、「就職」42.4%、「進学」37.5%となった（図表 3-11）。一方で、「未定」も 16.7%あった。

卒業後の予定進路と性別の関連をみると、男性は「就職」47.8%、「進学」が31.3%、女性は「就職」が36.1%、「進学」が44.4%と、女性の方が進学の割合が高くなっている（図表 3-12）。

図表 3-11 卒業後の予定進路 n=144



図表 3-12 卒業後の予定進路×性別





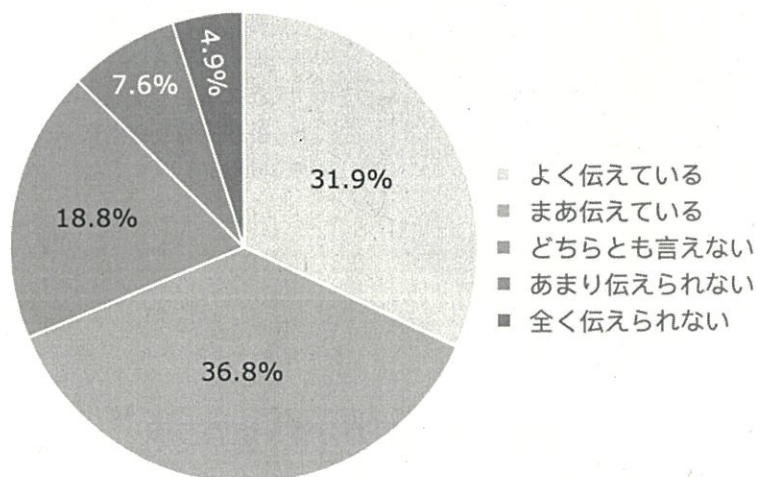
### (3) 施設等とのかかわり

施設等とのかかわりとして、意思表示と意思の尊重、職員等との信頼関係、将来希望する施設等からの連絡頻度、回答者から施設等への連絡頻度についてみていく。

#### ① 意思表示と意思の尊重

意思表示（自分の将来、自分の気持ちや希望は十分に伝えられているか）については、「よく伝えている」が 31.9%、「まあ伝えている」が 36.8%と、7割弱が意思表示はできているとしている（図表 3-13）。一方で、「あまり伝えられない」は 7.6%、「全く伝えられない」は 4.9%と、意思表示ができないとしたのは 1割強であった。

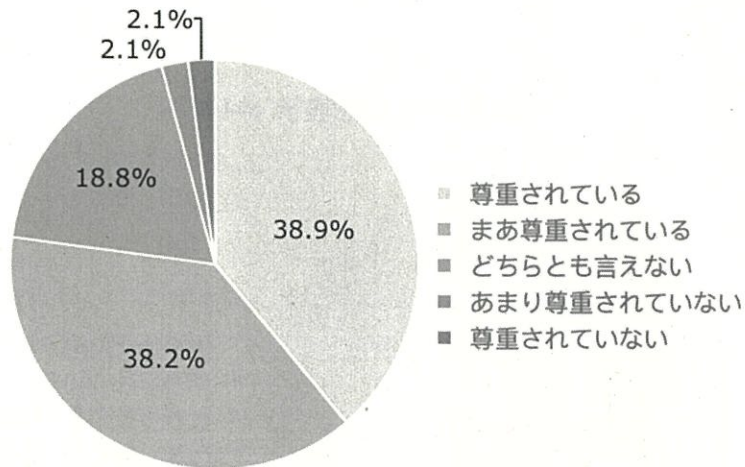
図表 3-13 意思表示 n=144



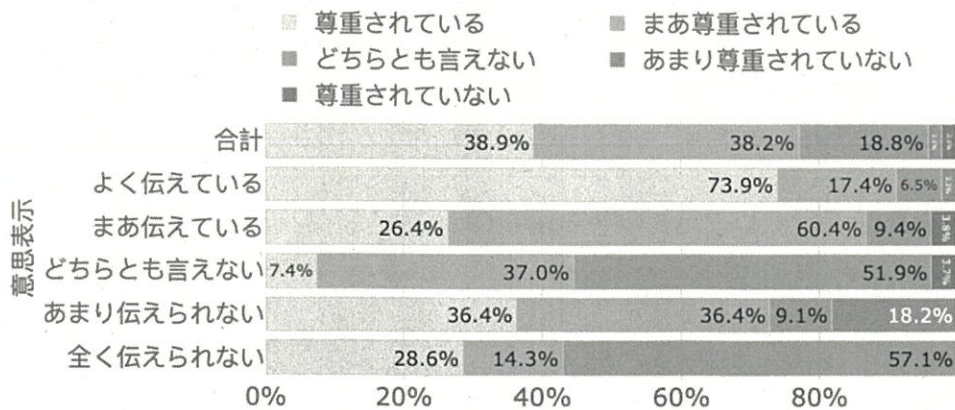
また、意思の尊重（あなたの意向や意見は、施設の職員や里親、児童相談所の担当者から尊重されているか）については、「尊重されている」が 38.9%、「まあ尊重されている」が 38.2%と、4分の3以上が尊重されていると回答している（図表 3-14）。

意思の尊重と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は「（意思が）尊重されている」73.9%となった（図表 3-15）。また、意思表示でまあ伝えていると回答した者は、「（意思が）尊重されている」が 26.4%と、意思表示と意思の尊重との間には相関がみられる。

図表 3-14 意思の尊重 n=144



図表 3-15 意思の尊重×意思表示

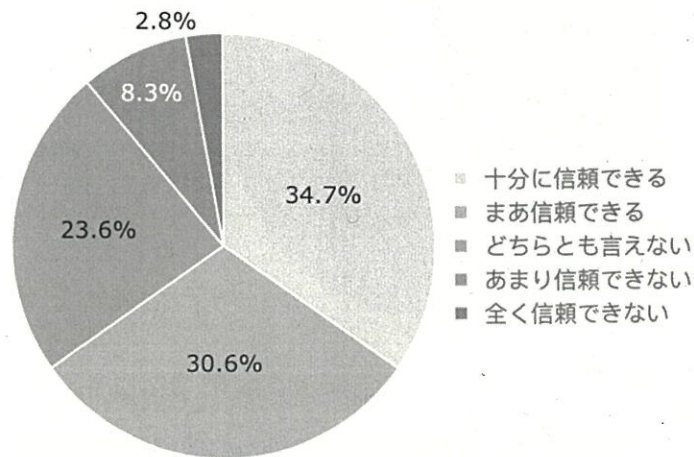


## ② 職員等との信頼関係

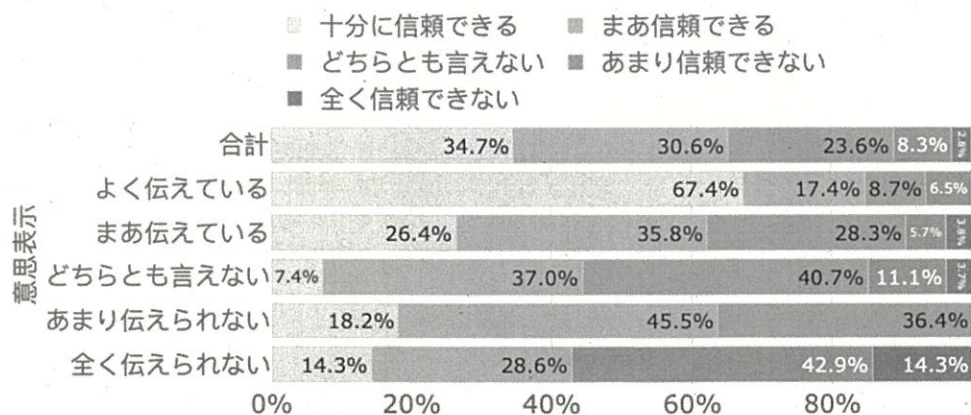
職員等（施設職員や里親、児童相談所の担当者）との信頼関係については、「十分に信頼できる」が34.7%、「まあ信頼できる」が30.6%と、4分の3以上が信頼できると回答している（図表 3-16）。一方で、「あまり信頼できない」は8.3%、「全く信頼できない」は2.8%と、信頼できないとの回答は約1割であった。

職員等との信頼関係と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、職員等との信頼関係について「十分に信頼できる」67.4%となった（図表 3-17）。一方で、意思表示でまあ伝えていると回答した者は、職員等との信頼関係について「十分に信頼できる」26.4%と、意思表示と信頼関係には強い相関がみられた。

図表 3-16 職員等との信頼関係 n=144



図表 3-17 職員等との信頼関係×意思表示



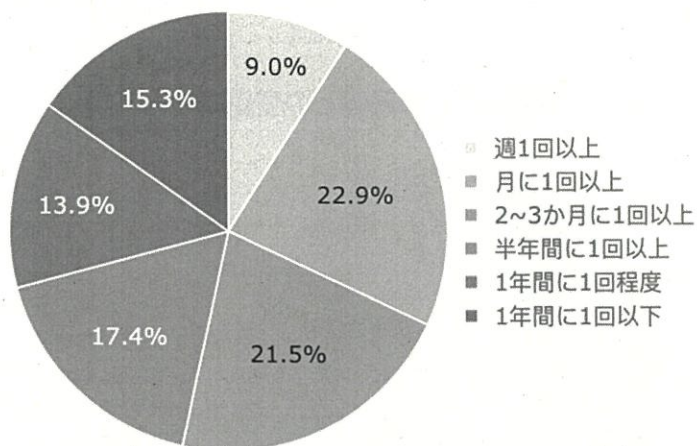


### ③ 将来希望する施設等との連絡頻度

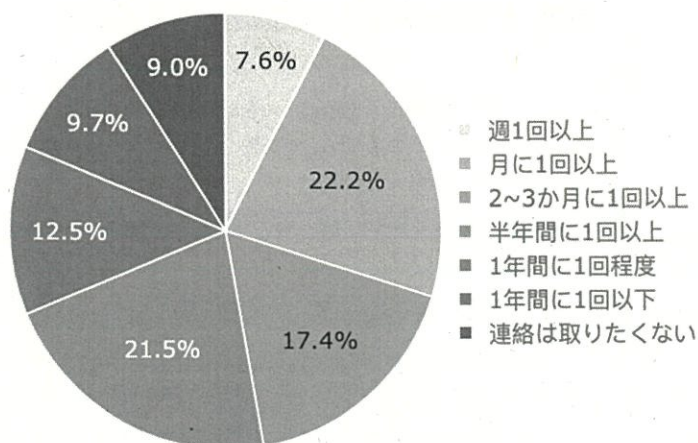
将来希望する施設等からの連絡頻度は、「月に1回以上」22.9%が最も多く、次いで「2~3か月に1回以上」21.5%、「半年間に1回以上」17.4%となった（図表3-18）。

一方で、回答者から施設等への将来の連絡頻度は、「月に1回以上」22.2%、「2~3か月に1回以上」17.4%と、「半年間に1回以上」21.5%と、施設からの連絡頻度よりも回答者から連絡する頻度はやや低くなっている（図表3-19）。また、「連絡は取りたくない」も9.0%あった。

図表 3-18 将来希望する施設等からの連絡頻度 n=144



図表 3-19 回答者から施設等への連絡頻度 n=144



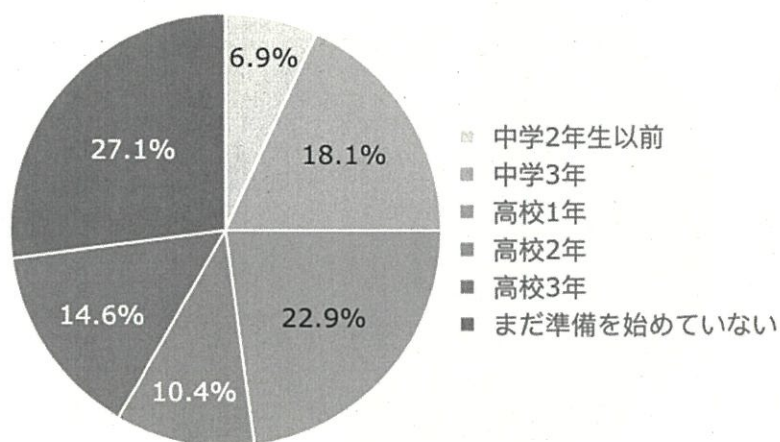
#### (4) 自立の準備

ここでは、自立準備の開始時期と評価、施設等で受けた自立支援の内容、施設等の自立支援の有効性についてたずねた。

##### ① 自立準備の開始時期と評価

自立準備の開始時期についてみると、「まだ準備を始めていない」27.1%、「高校1年」22.9%、「中学3年」18.1%となっている（図表3-20）。

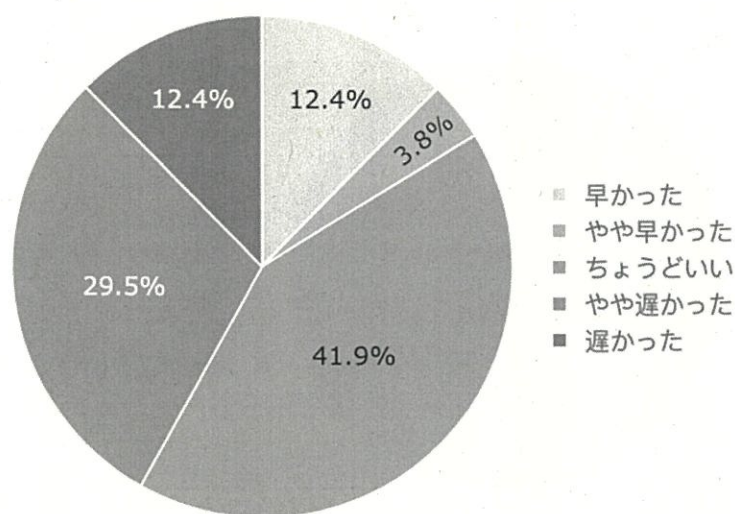
図表3-20 自立準備の開始時期 n=144



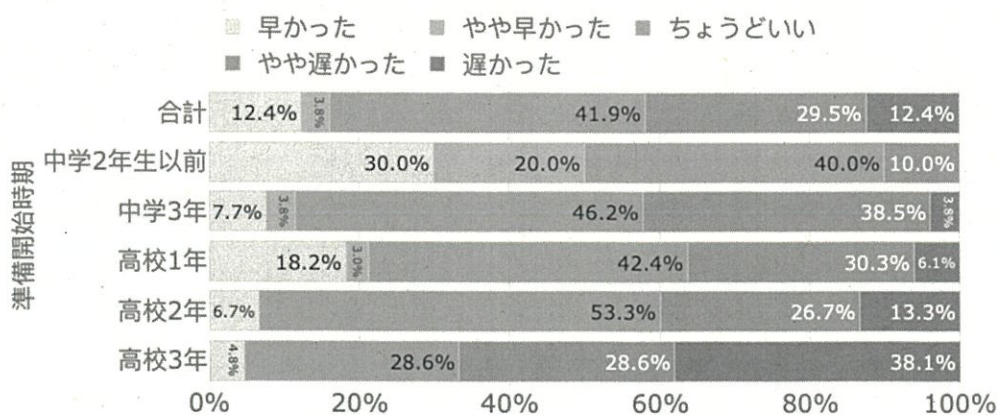
また、自立準備開始時期の評価<sup>29</sup>をみると、「ちょうどいい」が41.9%と最も多くなった(図表3-21)。一方で、「やや遅かった」が29.5%、「遅かった」が12.4%と、約4割が遅かったと回答している。

自立準備開始時期の評価と自立準備の開始時期の関連をみると、中学2年生以前で自立準備を開始した者は、「早かった」30.0%、「やや早かった」20.0%、「ちょうどいい」40.0%となった(図表3-22)。一方で、中学3年で自立準備を開始した者は、「ちょうどいい」が46.2%、「やや遅かった」38.5%となった。

図表3-21 自立準備開始時期の評価 n=105



図表3-22 自立準備開始時期の評価×自立準備の開始時期



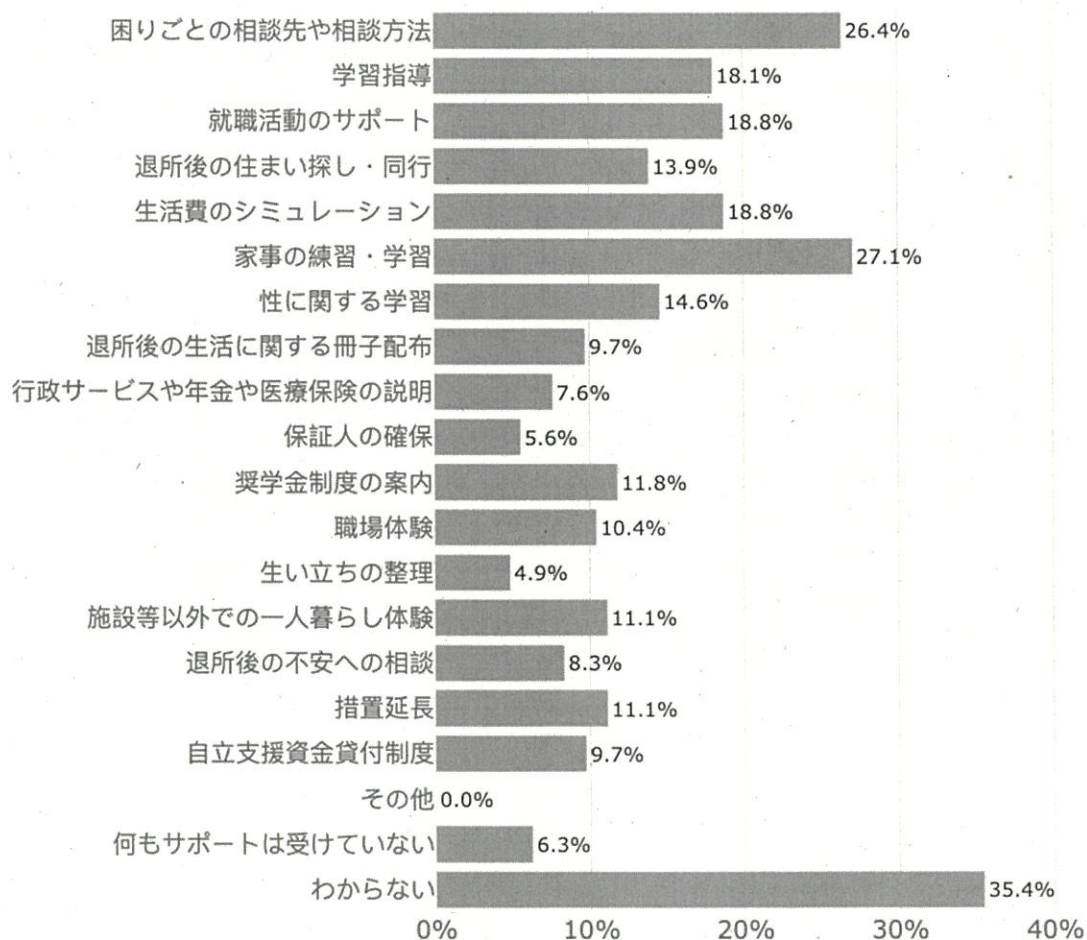
29 自立準備の開始時期で「まだ準備を始めていない」以外を選択した回答者(n=105)にたずねた。



## ② 施設等で受けた自立支援の内容

施設等で受けた自立支援の内容は、「わからない」35.4%が最も多く、退所間際にならないと受けている支援が自立準備のためのものだと結びつかないからだと思われる(図表 3-23)。次いで、回答が多かったのは、「家事の練習・学習」が27.1%、「困りごとの相談先や相談方法」が26.4%であった。

図表 3-23 施設等で受けた自立支援の内容 [複数回答] n=144



施設等で受けた自立支援の内容を通学状況で比較すると、高校1年では、「わからない」が50.0%、「学習指導」が28.9%となっている(図表3-24)。一方、高校3年では、「わからない」が11.8%と減り、「家事の練習・学習」が41.2%、「生活費のシミュレーション」が35.3%、「困りごとの相談先や相談方法」が29.4%、「就職活動のサポート」が26.5%と、退所を間際に控えて自立支援の内容が具体的になってくる。

図表3-24 施設等で受けた自立支援の内容×通学状況

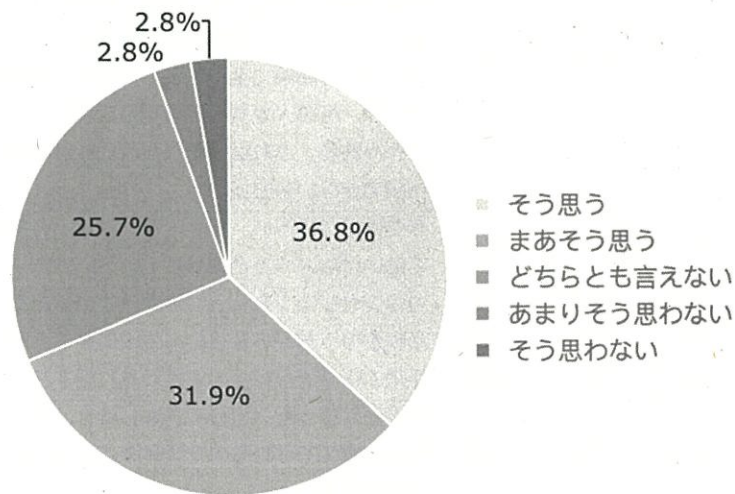
上段：度数 下段：%		わからな い	家事の練 習・学習	困りごと の相談先 や相談方 法	就職活動 のサポー ト	生活費の シミュ レーショ ン	学習指導	回答者数
合計		51 35.4%	39 27.1%	38 26.4%	27 18.8%	27 18.8%	26 18.1%	144 100.0%
通 学 状 況	高校1年	19 50.0%	7 18.4%	8 21.1%	7 18.4%	1 2.6%	11 28.9%	38 -
	高校2年	19 46.3%	11 26.8%	9 22.0%	5 12.2%	5 12.2%	7 17.1%	41 -
	高校3年	4 11.8%	14 41.2%	10 29.4%	9 26.5%	12 35.3%	6 17.6%	34 -
	その他	2 22.2%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	5 55.6%	1 11.1%	9 -
	通ってな い	7 31.8%	3 13.6%	7 31.8%	5 22.7%	4 18.2%	1 4.5%	22 -

### ③ 施設等の自立支援の評価

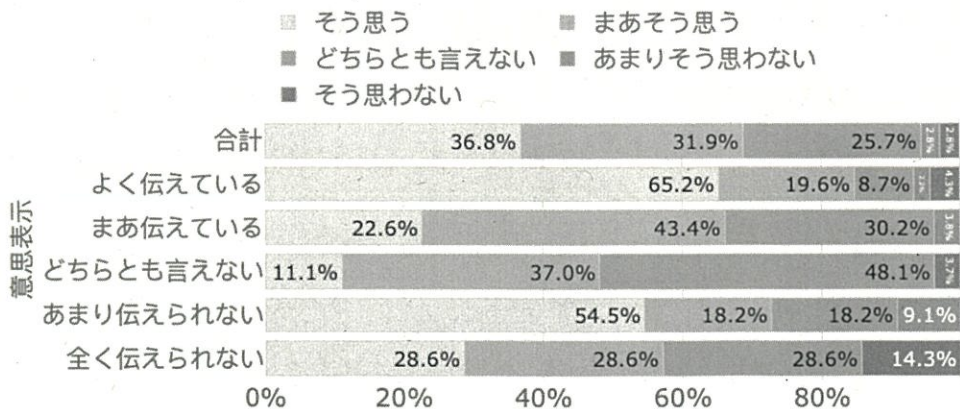
施設等の自立支援が有効と思うかとの質問には、「そう思う」36.8%、「まあそう思う」31.9%と、約7割は自立支援が有効だと回答している（図表 3-25）。

施設等の自立支援の評価と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、施設等の自立支援が「(有効だと) そう思う」が65.2%と、施設等の自立支援を評価している（図表 3-26）。一方で、意思表示でまあ伝えていると回答した者は、「そう思う」が22.6%と評価が低くなっている。

図表 3-25 施設等の自立支援の評価 n=144



図表 3-26 施設等の自立支援の評価×意思表示





#### ④ 自立支援への意見

回答者から寄せられた自立支援への自由回答を抜粋し、図表 3-27 に原文のまま掲載する。

図表 3-27 自立支援への意見（自由回答、順不同、原文のまま）

no.	性別	施設種類	学年	進路	回答内容
1	女性	FH	高2	未定	自立支援がなにか分からないです
2	女性	施設	休学	進学	将来自分が自立できているのか不安です
3	女性	母子	卒業	未定	職員によって知識に大きな差があると感じる。モラハラを感じる職員が居たり、施設職員の保育士に子供を預けた時の職員の態度等信用できない事があり、頼れない、相談できない事も多い。そんな中で、結局は自分でやるしかない、悩みは打ち明けられないという結論に至り、苦しくなる。情報をくれる職員さんもいるが、その人が休み等の場合は精神的に崩壊しそうになる時が多々ある。これは手伝うが、これはしない等の線引も曖昧で相談できない事も多い。
4	女性	母子	卒業	就職	焦る気持ちの私に、焦ってはいけないと何度も言われた。焦ってはいけないのだと痛感している。
5	男性	施設	高2	進学	カウンセリングをしっかりと受けているため少しは心が楽である
6	女性	施設	高1	進学	高校生のうちから今後の人生に向けての貯金をしていきたい
7	女性	施設	高2	進学	将来の措置延長などの支援があればすごく心強いと思う
8	女性	施設	高3	進学	中学生になったら自分で洗濯したり、お小遣い帳をつけたり、色々と教えてくれるので大体のことは出来るようになっていると思います。
9	女性	施設	高3	進学	ここまでの成長は、助けがあつての事だから、助けて大事だと感じたことです。
10	男性	FH	休学	未定	自立に向けて色んな方にサポートをしてもらって助かっている
11	男性	施設	高1	就職	自分を正しくしてくれる先生たちに感謝しています。
12	女性	自援	休学	就職	相談にのってくれることが嬉しい

表中の略記：施設の種類 FH=ファミリーホーム、自援=自立援助ホーム、母子=母子生活支援施設

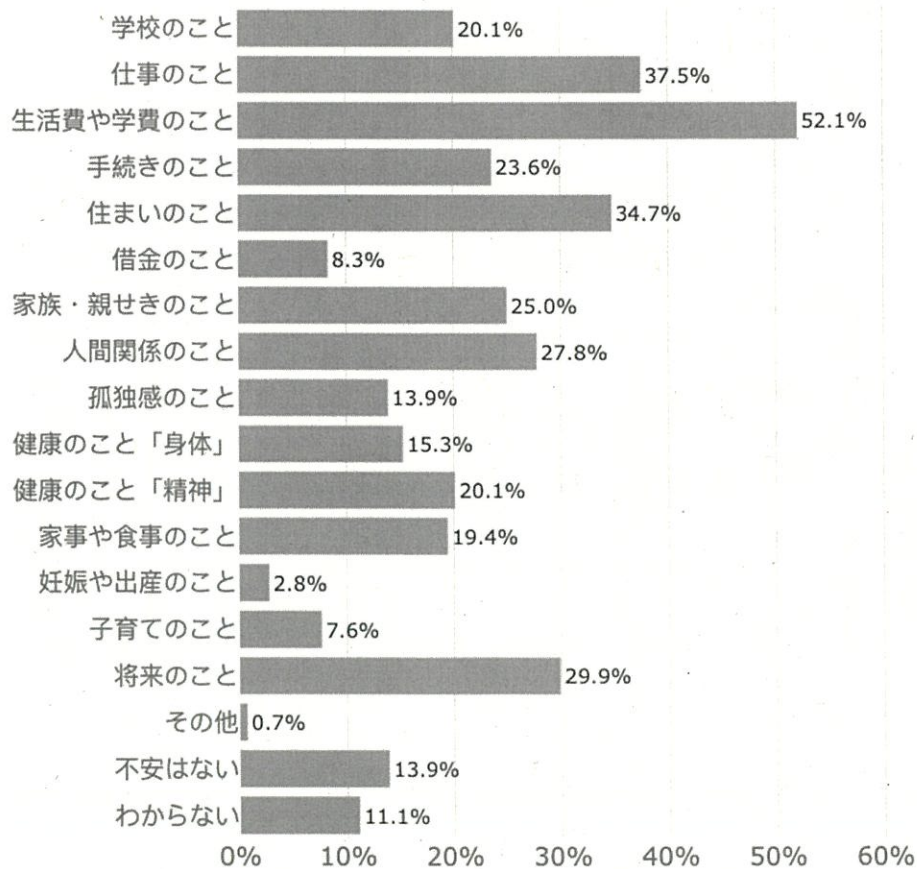
## (5) 将来について

ここでは、将来の不安、将来への意識（働くことや自分自身で生活することなど）についてみていく。

### ① 将来の不安

将来の不安についてみると、「生活費や学費のこと」が52.1%と最も多く、次いで「仕事のこと」37.5%、「住まいのこと」34.7%、「将来のこと」29.9%、「人間関係のこと」27.8%、「家族・親せきのこと」25.0%となっている(図表 3-28)。

図表 3-28 将来の不安 [複数回答] n=144



将来の不安の上位 6 項目を性別で比較すると、女性は「生活費や学費のこと」59.7%、「仕事のこと」48.6%と、いずれも男性より高く不安感が強く表れている(図表 3-29)。

また、将来の不安上位 6 項目を卒業後の予定進路で比較すると、進学する者は「生活費や学費のこと」70.4%、「将来のこと」40.7%、「人間関係のこと」と「住まいのこと」がそれぞれ37.0%と、「仕事のこと」と「家族・親せきのこと」を除いた項目で就職する者よりも不安感が強く表れている。

図表 3-29 将来の不安×性別、卒業後の予定進路

上段：度数 下段：%		生活費や 学費のこ と	仕事のこと	住まいの こと	将来のこ と	人間関係 のこと	家族・親 せきのこと	回答者数
合計		75 52.1%	54 37.5%	50 34.7%	43 29.9%	40 27.8%	36 25.0%	144 100.0%
性別	男性	31 46.3%	19 28.4%	17 25.4%	10 14.9%	11 16.4%	9 13.4%	67 -
	女性	43 59.7%	35 48.6%	33 45.8%	32 44.4%	29 40.3%	27 37.5%	72 -
	回答しな い	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 -
卒業後 進路	就職	24 39.3%	30 49.2%	20 32.8%	17 27.9%	13 21.3%	13 21.3%	61 -
	進学	38 70.4%	13 24.1%	20 37.0%	22 40.7%	20 37.0%	13 24.1%	54 -
	未定	12 50.0%	9 37.5%	7 29.2%	2 8.3%	4 16.7%	6 25.0%	24 -
	その他	1 20.0%	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	3 60.0%	4 80.0%	5 -



## ② 将来への意識

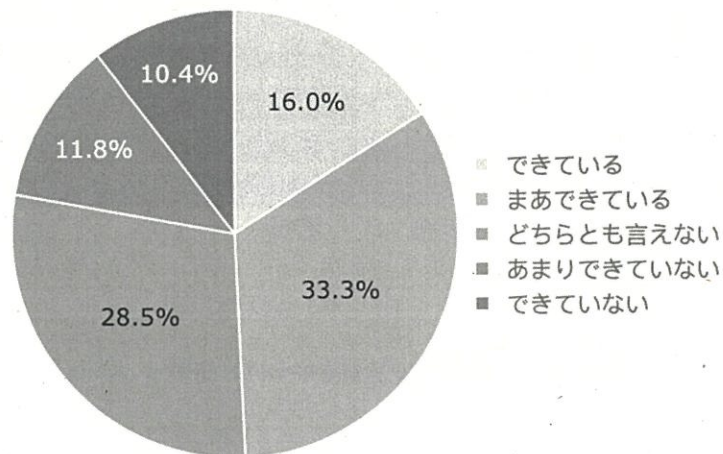
ここでは、生計を立てること、所持金の把握、働くこと、社会マナー、情報リテラシー、将来への希望感の6項目を通して、将来への意識についてみていく。

### a) 生計イメージ

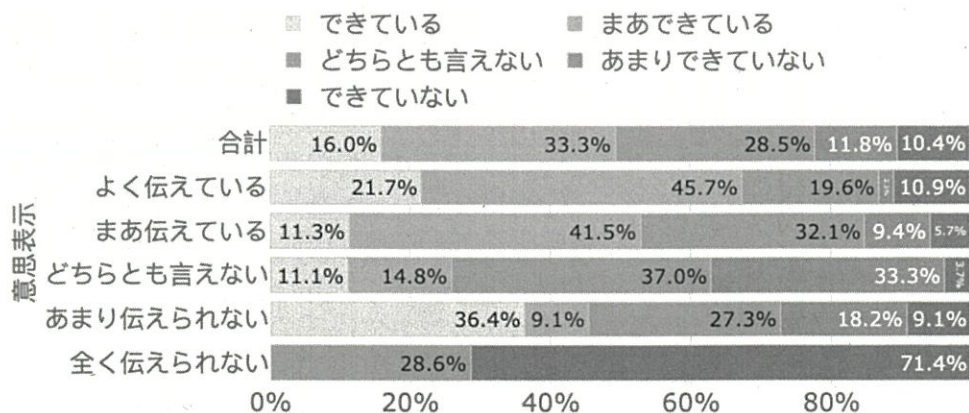
自分自身で生活・生計を立てることがイメージできるかとの質問には、「できている」16.0%、「まあできている」33.3%、「どちらとも言えない」28.5%、「あまりできていない」11.8%、「できていない」10.4%と、約5割は生計イメージがあると回答している(図表3-30)。

生計イメージと意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、生計イメージが「できている」21.7%、「まあできている」45.7%と、合計よりも多くなっている(図表3-31)。

図表3-30 生計イメージ n=144



図表3-31 生計イメージ×意思表示

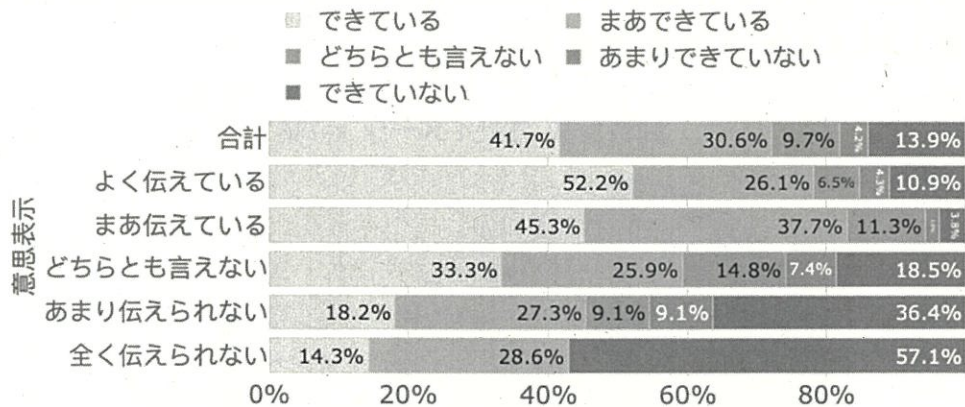


b) 所持金の把握

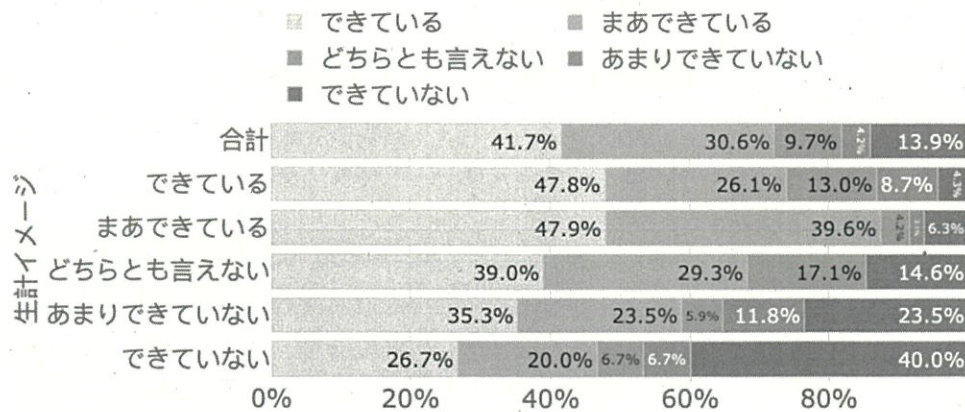
現在、自分がどのくらいのお金を持っているか把握しているかという質問には、「できている」41.7%、「まあできている」30.6%と、7割以上が所持金を把握していると回答している(図表 3-32)。所持金の把握と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、所持金の把握が「できている」52.2%と多くなっている。

所持金の把握と生計イメージとの関連でも、同様の傾向がみられる(図表 3-33)。

図表 3-32 所持金の把握 n=144×意思表示



図表 3-33 所持金の把握 n=144×生計イメージ

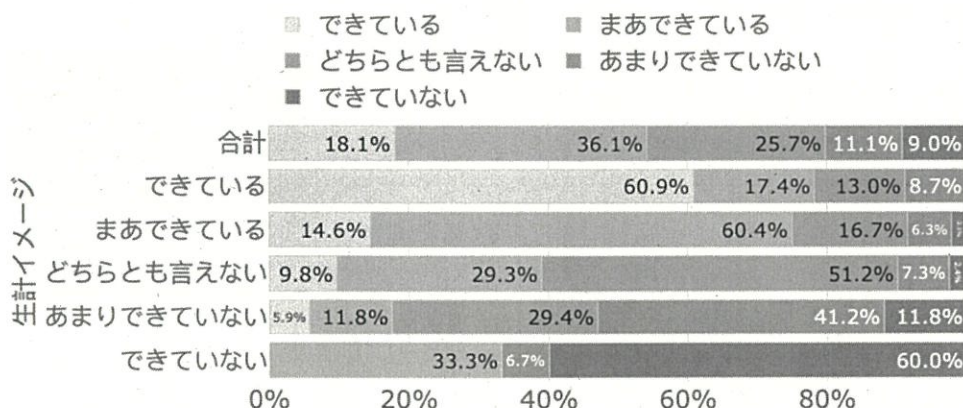


c) 働くイメージ

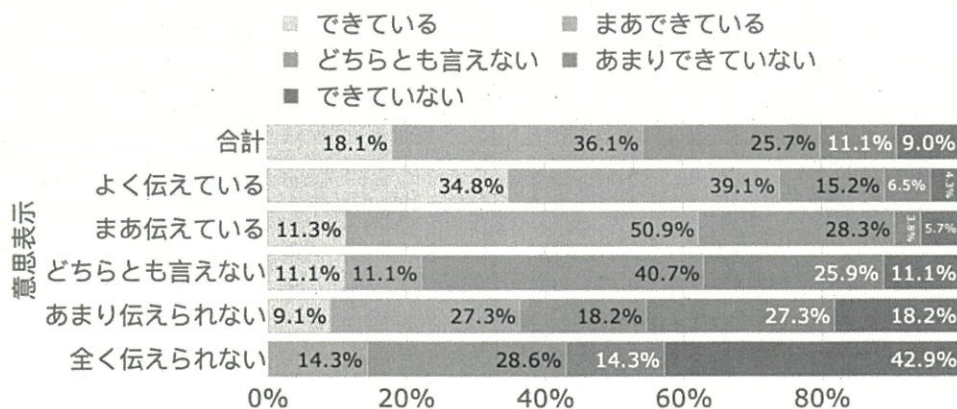
将来、自分が働いているイメージができるかとの質問には、「できている」18.1%、「まあできている」36.1%、「どちらとも言えない」25.7%と、約5割は将来働くイメージができると回答している(図表3-34)。働くイメージと生計イメージの関連をみると、生計イメージができている者は、働くイメージが「できている」が60.9%と全体よりも多くなっている。

また、働くイメージと意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、働くイメージが「できている」が34.8%と全体よりも多くなっている(図表3-35)。

図表3-34 働くイメージ n=144×生計イメージ



図表3-35 働くイメージ n=144×意思表示



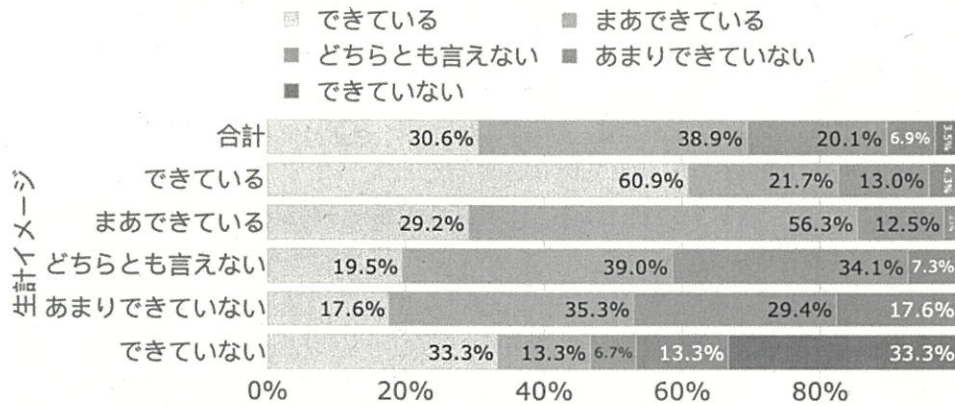


d) 社会マナー

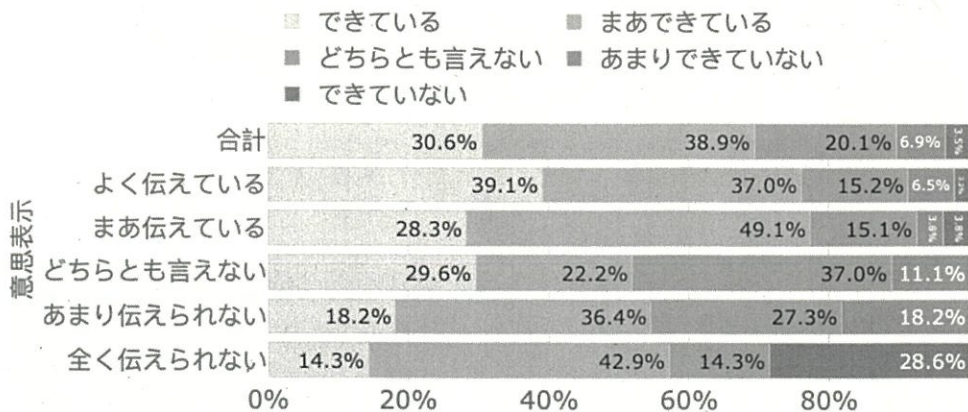
社会人としてのマナーは身につけていると思うかとの質問には、「できている」30.6%、「まあできている」38.9%、「どちらとも言えない」20.1%と、約7割が社会マナーは身につけていると回答している（図表3-36）。社会マナーと生計イメージとの関連をみると、生計イメージができていると回答した者は、社会マナーが「できている」が60.9%と全体に比べて非常に多くなっている。

また、社会マナーと意思表示の関連においても、同様の傾向がみられる（図表3-37）。

図表 3-36 社会マナー n=144×生計イメージ



図表 3-37 社会マナー n=144×意思表示

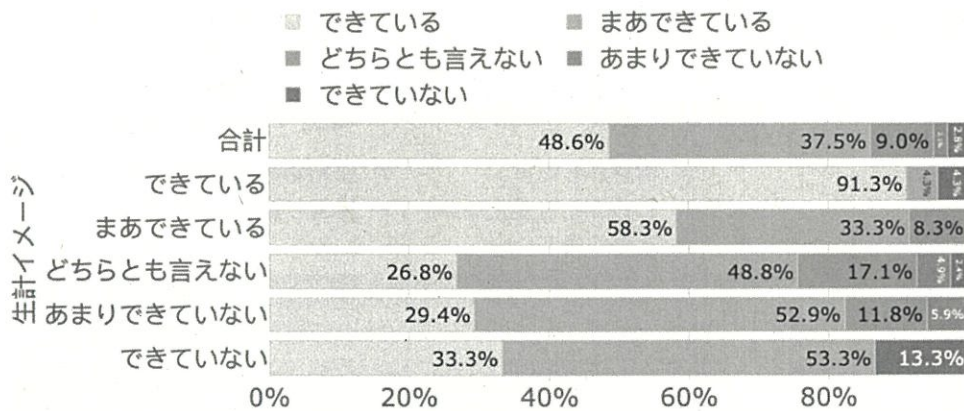


e) 情報リテラシー

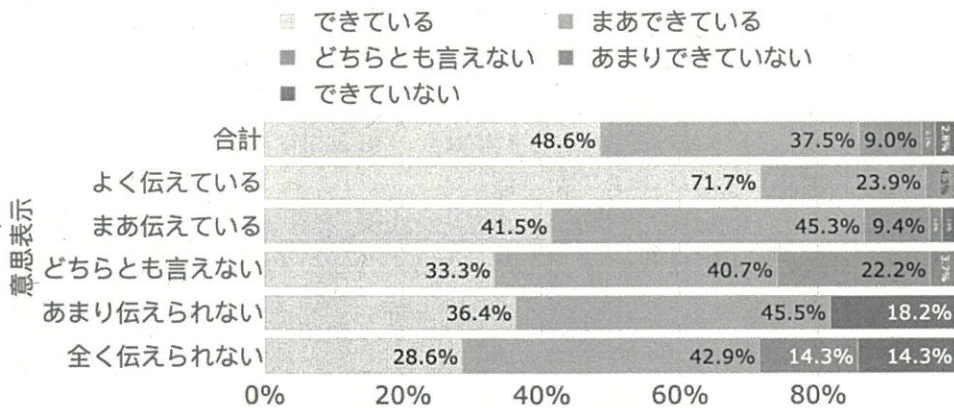
わからないことがあった時に必要な情報を調べることができるかとの質問には、「できている」48.6%、「まあできている」37.5%、「どちらとも言えない」9.0%と、8割以上が情報リテラシーには問題ないと回答している（図表 3-38）。情報リテラシーと生計イメージとの関連をみると、生計イメージができていると回答した者は、情報リテラシーが「できている」が91.3%と極めて高くなっている。

また、情報リテラシーと意思表示との関連においても同様の傾向がみられる（図表 3-39）。

図表 3-38 情報リテラシー n=144×生計イメージ



図表 3-39 情報リテラシー n=144×意思表示





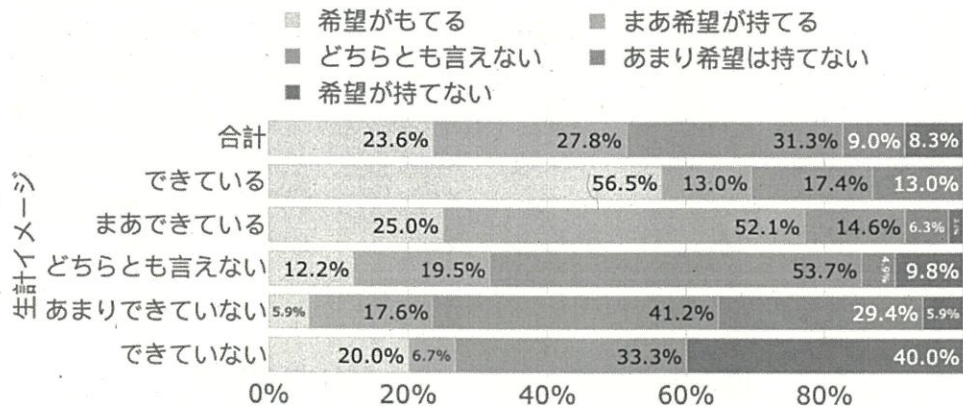
f) 将来への希望

自分の将来に希望が持てるかとの質問には、「希望が持てる」23.6%、「まあ希望が持てる」27.8%、「どちらとも言えない」31.3%と、約半数が将来への希望をもっていると回答している（図表3-40）。将来への希望と生計イメージとの関連をみると、生計イメージができていると回答した者は、「将来の希望が持てる」が56.5%と全体に比べ突出して高くなっている。

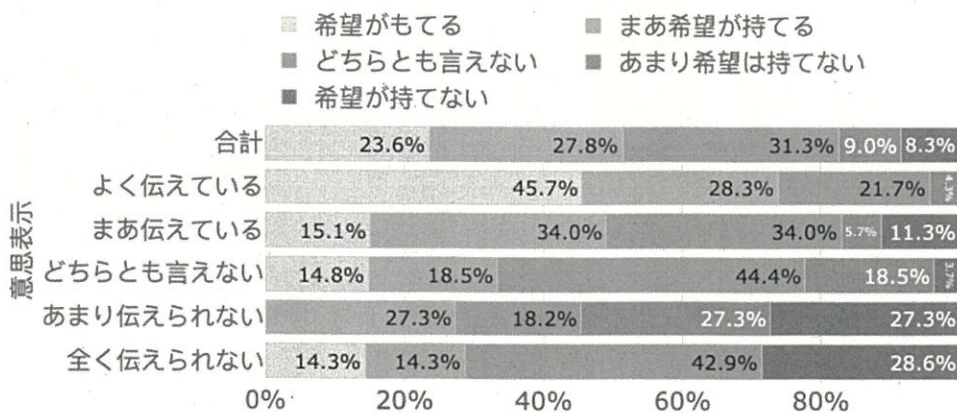
将来への希望と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、「将来の希望が持てる」が45.7%となった（図表3-41）。

以上6項目の将来への意識をみてきたが、どの項目においても“意思を伝えられること”および“生計を立てるイメージがもてること”と関連があり、それらができると回答した者は、将来への意識がポジティブである。これらのことから、意思表示を行えること、生計を立てるイメージが持てることは、自己効力感を養うことにつながると推察される。

図表3-40 将来への希望 n=144×生計イメージ



図表3-41 将来への希望 n=144×意思表示





## (6) 悩みと将来の支援ニーズ

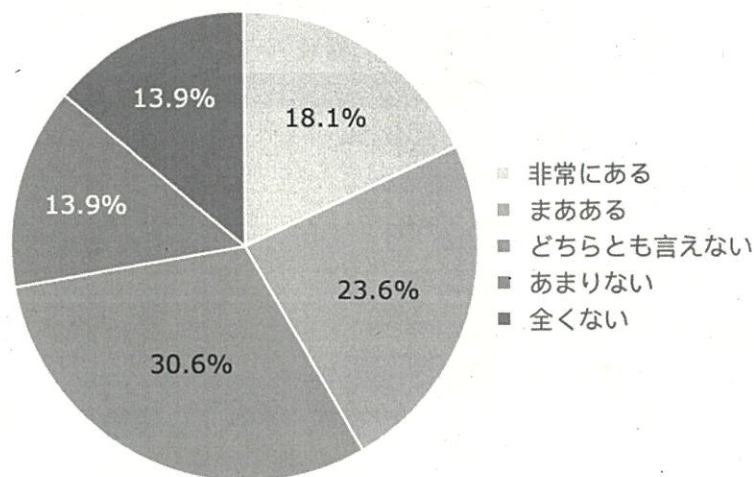
対人関係における心理的障壁、困った時の相談相手、退所後の支援ニーズについてたずねた。

### ① 対人関係における心理的障壁

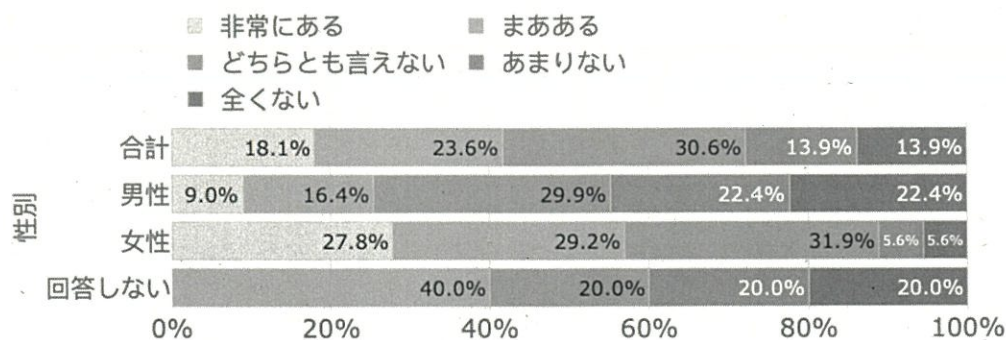
対人関係における心理的障壁（自分の生き立ちを考えて、結婚、恋愛、交友、職場において後ろ向きの気持ちになること）については、「非常にある」18.1%、「まあある」23.6%、「どちらとも言えない」30.6%と、5割弱が心理的障壁を感じている（図表 3-42）。

心理的障壁を性別で見ると、女性は「非常にある」が27.8%、「まあある」が29.2%と、男性よりも心理的障壁を強く感じているようである（図表 3-43）。

図表 3-42 対人関係における心理的障壁 n=144



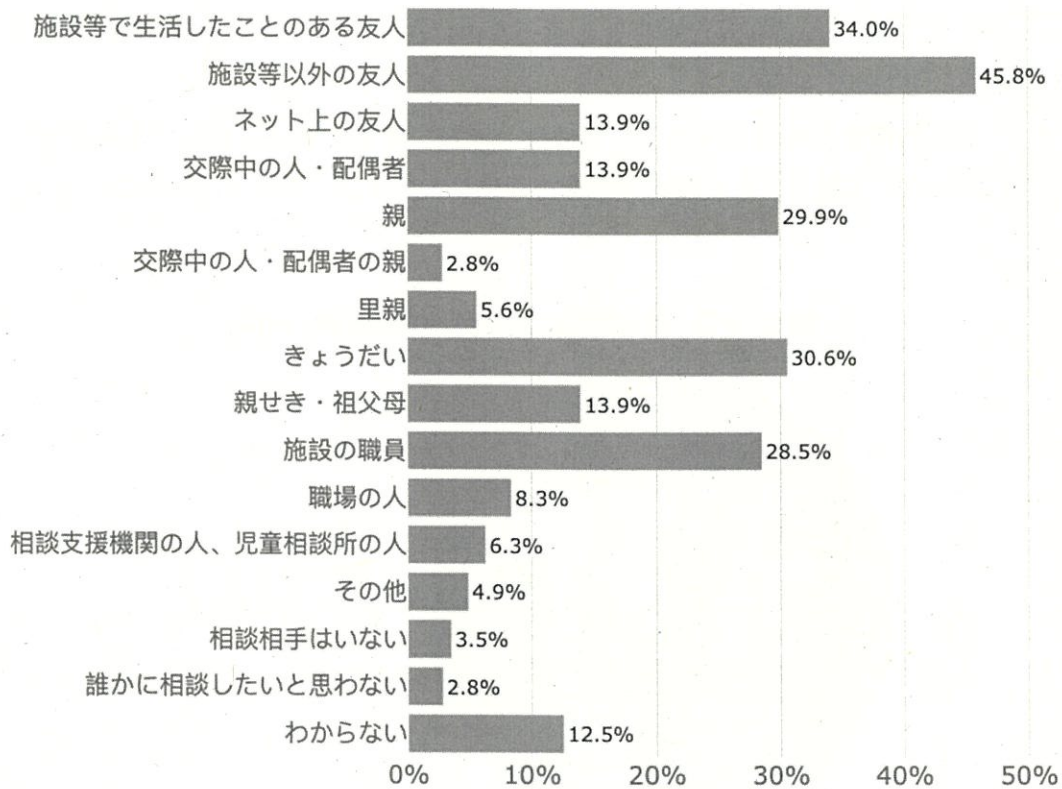
図表 3-43 対人関係における心理的障壁×性別



## ② 困った時の相談相手

困った時の相談相手についてみると、「施設等以外の友人」45.8%、「施設等で生活したことがある友人」34.0%、「きょうだい」30.6%、「親」29.9%、「施設の職員」28.5%となっている（図表 3-44）。

図表 3-44 困った時の相談相手〔複数回答〕 n=144



困った時の相談相手と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、「施設等以外の友人」60.9%、「施設等で生活したことのある友人」47.8%、「きょうだい」41.3%、「施設の職員」45.7%と全体と比べて高く、相談相手も多岐にわたるようである（図表 3-45）。

図表 3-45 困った時の相談相手×意思表示

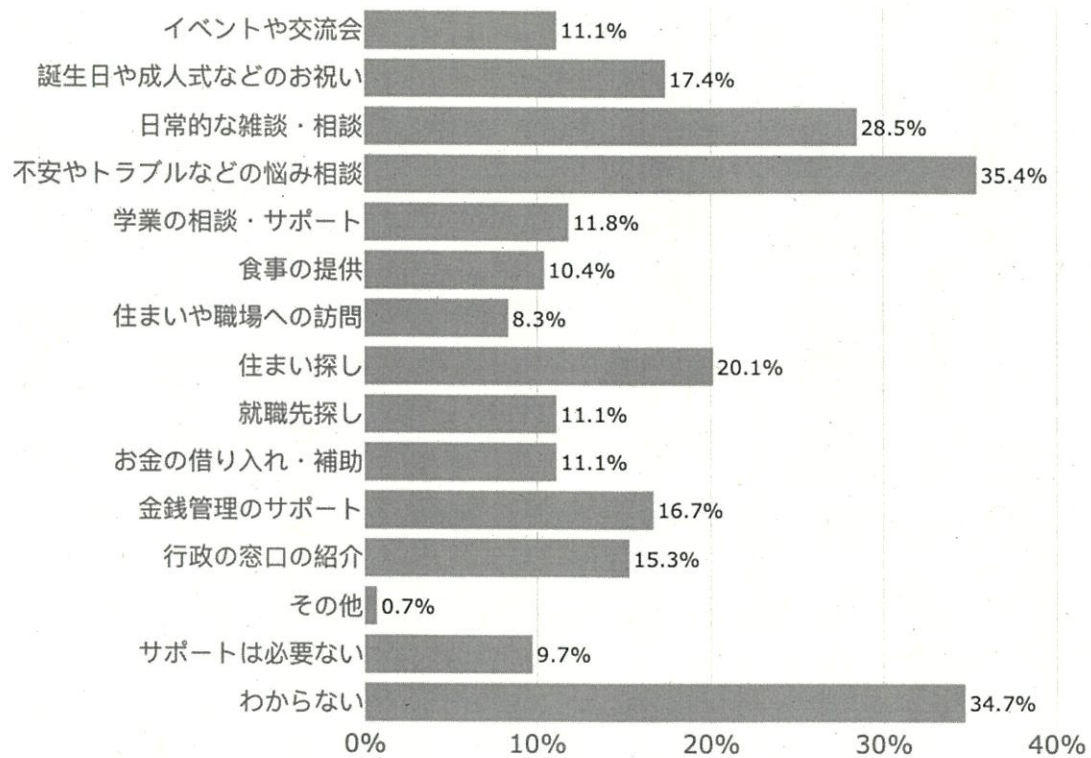
上段：度数 下段：%		施設等以外の友人	施設等で生活したことのある友人	きょうだい	親	施設の職員	回答者数
合計		66 45.8%	49 34.0%	44 30.6%	43 29.9%	41 28.5%	144 1
意 思 表 示	よく伝えている	28 60.9%	22 47.8%	19 41.3%	16 34.8%	21 45.7%	46 -
	まあ伝えている	22 41.5%	15 28.3%	16 30.2%	19 35.8%	11 20.8%	53 -
	どちらとも言えな	11 40.7%	10 37.0%	5 18.5%	6 22.2%	7 25.9%	27 -
	あまり伝えられな	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	11 -
	全く伝えられない	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 -



### ③ 退所後の支援ニーズ

退所後の支援ニーズについては、「不安やトラブルなどの悩み相談」35.4%、「日常的な雑談・相談」28.5%、「住まい探し」20.1%、「誕生日や成人式などのお祝い」17.4%となった(図表 3-46)。一方で、「わからない」も 34.7%と多く、まだ退所後のイメージがわからないのだと思われる。

図表 3-46 退所後の支援ニーズ [複数回答] n=144



退所後の支援ニーズを性別でみると、女性は「不安やトラブルなどの悩み相談」が47.2%、「日常的な雑談・相談」が38.9%、「誕生日や成人式などのお祝い」が22.2%と、総じて男性よりも支援ニーズが高い(図表3-47)。

図表3-47 退所後の支援ニーズ×性別

上段：度数 下段：%		不安やトラブルなどの悩み相談	日常的な雑談&相談	住まい探し	誕生日や成人式などのお祝い	わからない	回答者数
合計		51 35.4%	41 28.5%	29 20.1%	25 17.4%	50 34.7%	144 100.0%
性別	男性	16 23.9%	11 16.4%	14 20.9%	9 13.4%	28 41.8%	67 -
	女性	34 47.2%	28 38.9%	15 20.8%	16 22.2%	20 27.8%	72 -
	回答しない	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	5 -

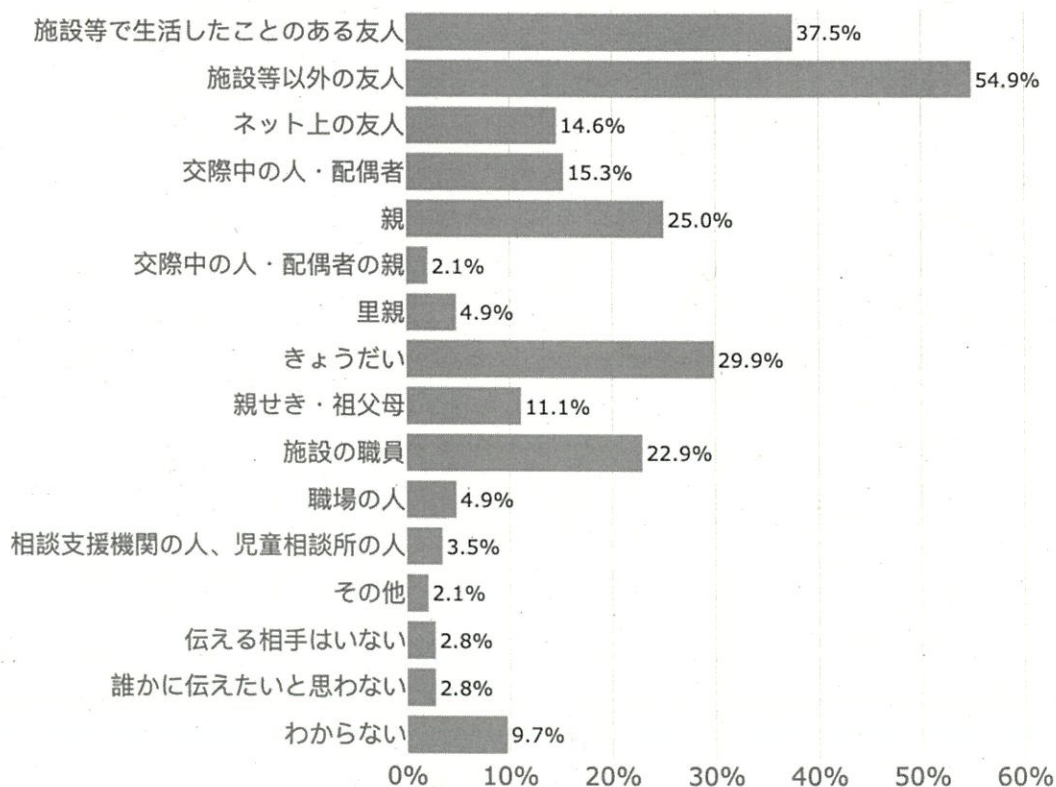
## (7) 心のよりどころ

最後に、心のよりどころとして、嬉しかったことを伝える相手、安心安全な居場所とその内容についてみていく。

### ① 嬉しかったことを伝える相手

嬉しかったことを伝える相手については、「施設等以外の友人」54.9%、「施設等で生活したことがある友人」37.5%、「きょうだい」29.9%、「親」25.0%、「施設等の職員」22.9%となった（図表 3-48）。前出（図表 3-44）の困った時の相談相手と順位は変わらないが、それぞれの数値がやや高く、相談よりも嬉しかったことの方が伝えやすいようである。

図表 3-48 嬉しかったことを伝える相手【複数回答】 n=144



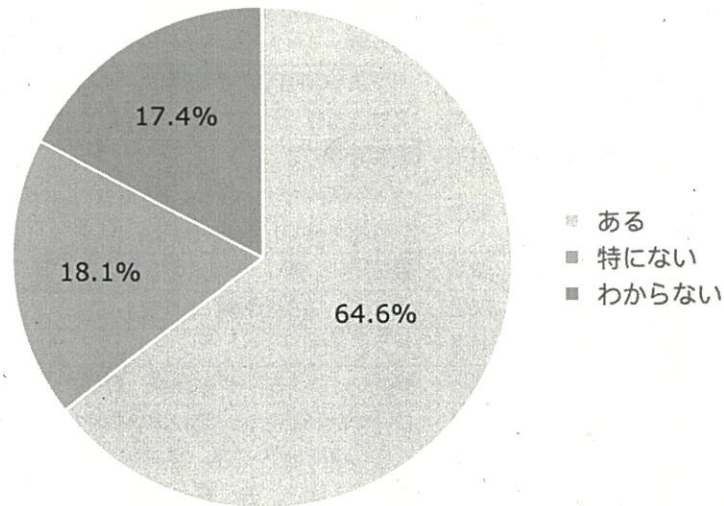


## ② 安心安全な居場所とその内容

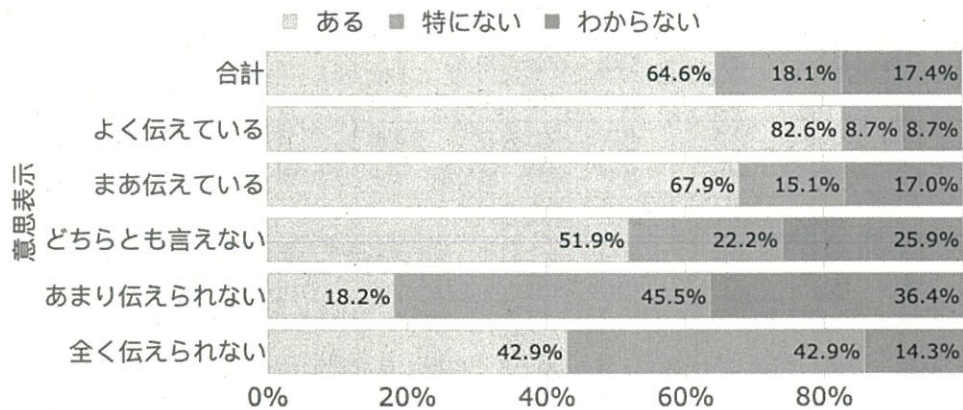
安心安全な居場所について、「(安心安全な居場所が) ある」と回答した者は64.6%、「特にない」が18.1%、「わからない」が17.4%となった(図表3-49)。

安心安全な居場所と意思表示の関連をみると、意思表示でよく伝えていると回答した者は、「ある」が82.6%と全体よりも顕著に高く、意思表示ができる者ほど、心のよりどころをもっていると推察できる(図表3-50)。

図表3-49 安心安全な居場所 n=144



図表3-50 安心安全な居場所×意思表示



また、安心安全な居場所が「ある」と回答した者に、その具体的な内容を自由回答でたずねた。回答者 93 名中 69 名（記入率 74.2%）が自由回答を記入。内容は多岐にわたり、それぞれに安らぎ楽しんでいる様子が伝わってくる。特徴的な回答を図表 3-51 にまとめた。

図表 3-51 安心安全な居場所（自由回答、順不同、原文のまま）

no.	性別	施設種類	学年	進路	回答内容
1	女性	施設	高1	進学	音楽を聴くこと、自分の部屋
2	回答しない	施設	高1	就職	運動をしている時とか、好きな人に会ってる時、家族みんなといる時
3	女性	里親	高2	就職	イラストを描くこと、アニメ、Vtuber、好きな曲
4	女性	母子	卒業	未定	ミサンガ作りや、ギターを弾く
5	男性	施設	高1	就職	野菜を育てる
6	女性	母子	卒業	就職	一人で散歩して、色んな場所へ行く。のんびりとコーヒーを飲む時間を持つ。料理を作る。
7	男性	施設	高2	進学	景色がいい所。イラストを描くこと等
8	男性	施設	高3	就職	サッカーなどの活動
9	女性	施設	高1	就職	ハンドメイド
10	男性	施設	高3	進学	筋トレ、ランニング、温泉、カラオケ
11	女性	施設	高3	就職	カフェが好きです。押し活が生きがいです！
12	女性	施設	高3	進学	安らぐ場所は お風呂。趣味は絵を描く、ものを作る、お風呂で歌うことなど。日に日に趣味が増えます
13	女性	施設	高3	就職	友人や交際相手と一緒にいること、ゲーム
14	女性	施設	高1	進学	ピアノを弾くこと、音楽を聴くこと
15	女性	施設	高1	進学	好きな人を推すこと
16	女性	施設	高1	未定	学校生活や部活動の時間
17	女性	母子	卒業	就職	カフェで読書
18	男性	施設	休学	就職	ゲーム、動画投稿、動画配信活動
19	女性	施設	高2	就職	太鼓です！
20	男性	里親	高3	進学	友達と話しているときや、ゲームをしたり漫画を読んでいる時
21	女性	施設	高3	進学	音楽をきく、歌を歌う、ドラマ・映画の鑑賞、ダンス
22	女性	施設	高3	進学	自室 歌う事 彼氏と話す事
23	女性	施設	高1	進学	自分のペット
24	女性	施設	高2	進学	歌を歌う、演技練習をする音楽を聴く
25	男性	施設	高3	就職	施設とか家などでゆっくり休んだりする事だと思います

表中の略記：施設の種類 FH=ファミリーホーム、自援=自立援助ホーム、母子=母子生活支援施設